

**1 学級規模校の魅力の認知向上に向けた広報支援業務
公募型プロポーザル選定委員会（第2回）
議事要旨**

項 目		内 容
1	日 時	令和8年7月30日（木）午前10時00分から午後0時00分まで
2	場 所	広島県庁東館7階 商工相談室
3	出席委員	広島県教育委員会事務局学びの変革推進部教育改革課長（委員長） 広島県教育委員会事務局管理部総務課秘書広報室長（副委員長） 広島県総務局広報課長 【代理人：県政コミュニケーショングループ ウェブディレクター】 広島県教育委員会事務局学びの変革推進部義務教育指導課長 広島県教育委員会事務局学びの変革推進部高校教育指導課長 【代理人：高校教育指導課長代理】
4	議 題	(1) 提案書に関するプレゼンテーション (2) 提案審査及び最優秀者の決定
5	担当部署	教育委員会事務局学びの変革推進部教育改革課
6	開催方法	参集
7	議事内容	1 審査方法 提出された企画提案書を基にプレゼンテーションを行い、選定委員会において審査の上、最優秀提案者を選定した。 2 審査結果 (1) 審査対象者（無作為に決定したプレゼンテーション実施順） 東光印刷株式会社【A社】 株式会社広島朝日広告社【B社】 (2) 審査対象者の評価値 別紙「公募型プロポーザル結果一覧」及び「評価基準に基づく評価項目別の総合値」のとおり (3) 最優秀提案者 東光印刷株式会社【A社】 3 各委員の主な評価・選定理由 (1) A社 ・ サイト構成やコンテンツ領域について具体的に検討しており、より良いものができる。 ・ HP内の各コンテンツにしっかりとアプローチするための工夫がなされている。 ・ 学校の魅力を深掘りしようとする意識が見られた。 ・ ユーザーの多くはスマホで閲覧するにも関わらず、スマホ表示でのデザイン案の提示がなかったことはマイナスだった。

		(2) B社 ・ 学校の負担を減らしたいという意欲は評価できるが、実際にどこまで学校の魅力を捉えて発信できるのか、具体的な方策がよく分からなかった。 ・ サイト構成についてターゲット層に対して特徴・魅力がしっかり伝わるようにしており、評価できる。 ・ 情報が届きやすい構成にしようという工夫ができています。 ・ 学校への支援姿勢や提案姿勢、新たな提案と認知向上に向けた意欲は感じるが、やりたいことと成果がうまくつながらない懸念がある。
--	--	---